



広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2011 6

平成23年6月1日
No.571

今月号の主な内容

放射線を知る P 2 ~ 3

財政公表・平成22年度下半期執行状況 P 8 ~ 9

小学校・幼稚園 春季大運動会 P 12 ~ 13

ゴールまでもうちょっと

片貝小学校の春季大運動会が5月21日(土)に行われました。同校最後となった運動会。児童たちは、みんなで力を合わせて精いっぱい競技を行いました。児童たちはかりでなく、先生や地域の人たちにとっても思い出に残る運動会になりました。

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

放射線を知る

信じられないような地震と津波、そして東京電力福島第一原発事故による放射線の影響が毎日のように報道され、県内に住む私たちはとても不安な状況にさらされています。今月は、放射線についてお知らせします。※掲載内容は、医学博士・星竹敏さんの監修を受けています。なお、放射線に関することは、県のホームページでも掲載していますのでご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/j/>

各種問い合わせ					
■放射能に関する問い合わせ					
☎ 024-521-8127					
■健康相談ホットライン（放射線に関する健康相談）					
☎ 0120-755-199					
■被ばく医療健康相談ホットライン（具体的な除染方法などの相談）					
☎ 043-290-4003					
■原子力災害全般に関する問い合わせ					
☎ 03-3501-1505 ☎ 03-3501-5890					

塙町の環境放射能測定結果

5月1日	5月5日	5月9日	5月13日
0.24	0.25	0.23	0.21
5月17日	5月21日	5月25日	5月29日

*測定は毎日2回実施。平均値を掲載

*測定場所：塙町役場

単位：マイクロシーベルト/1時間

塙町の水道水の検査結果

検査日	放射性ヨウ素	放射性セシウム
5月1日		
5月15日		検出されていません
5月30日		

*水道水の検査は、現在一日おきに実施しています

塙町の農産物

下記以外は、摂取や出荷をして問題ありません
※生茶葉(出荷制限・5月30日現在)

■問い合わせ
県農産物安全流通課
☎ 024-521-7354
まち振興課農林振興係
☎ 43-2118

基準値とは健康被害が出る値ではない

人は「放射線科技術師」です。日本では、この人たちの年間被ばく量を最大許容値で50ミリシーベルトとしていますが、寿命が短くなつたという話はありません。また、患者に使うレントゲンやCTの使いすぎでの、重い健康被害はいまだ出ていません。そもそも放射線はないものなので、なるべく低くしましょ

うといふことです。国際放射線防護委員会※では、通常時や緊急時などにおいての年間被ばく量を決めています。※ICRP：放射線から人や環境を守る仕組みを、専門家の立場で勧告する国際学術組織

塙町の放射線量は現在、0・2150・255マイクロシーベルトで推移していますので、特に防護策は必要ありません。

ただ、心理的な安心のためには、「マスクをする」「雨のときは傘をさす」「土遊びをしない」「食品は洗ってから食べる」くらいはしておいて良いと思います。

将来の影響への過度な心配は不要

被ばくした場合、その放射線量が高いほど数年後から数十年後にガンになるリスクが高まると考えられます。そのリスクは、例えば100ミリシーベルトで0・5%程度です。これは、喫煙や食事などの生活習慣を原因とするガンのリスクよりも低い数値で、過度に心配する必要はありません。

体内に入った放射性物質は必ず外へ出る

放射性物質（セシウムなど）が含まれている野菜などを食べて体内に入つたものというのは、ある一定の期間を経て外へ出ています。体内にずっと蓄積されるということはありません。ただし、放射性物質を含むものを絶えず食べる

放射能と放射線の違いは放射能というのはエネルギーで、その放射能から出されるものが放射線です。放射能の強さは「ベクレル」、という単位で表されます。シーベルトには、ミリシーベルト、マイクロシーベルトがあります。なお、1シーベルトは1,000ミリシーベルトは1,000マイクロシーベルトになります。

放射線の強さは「シーベルト」という単位で表されます。シーベルトの強さは「シーベルト」で、その放射能から出されるものが放射線です。

放射線の何が怖いのか放射線の健康被害は、高線量の急性放射線障害①と晚発性放射線障害②があります。低線量での積算被ばくでの晩発障害は、チエルノブイリや大気圈内核実験の長期にわたる調査からは、その影響だと証明できるほどの差のある健康障害は出ていません。

①即死または短期間で死に至る場合

原爆の爆心地付近の被ばく者、原子炉近くでの原発事故での被ばく者など、「高線量を一瞬に、もしくはきわめて

外部被ばくは、外から被ばくすることです。例えるなら、レントゲンです。内部被ばくは、体の中から被ばくすることをいいます。放射能がついた食品を食べることで放射能が体の中に入り、体の中で放射線を出すことにより被ばくします。

放射線の何が怖いのか放射線の健康被害は、高線量の急性放射線障害①と晚発性放射線障害②があります。低線量での積算被ばくでの晩発障害は、チエルノブイリや大気圈内核実験の長期にわたる調査からは、その影響だと証明できるほどの差のある健康障害は出ていません。

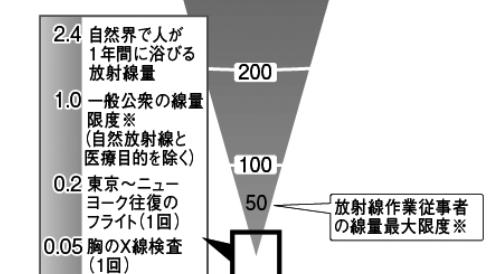
②ガンの発症率の上昇

広島・長崎の被ばく者の追跡調査では、一瞬・短期間に至る場合

原爆の爆心地付近の被ばく者、原子炉近くでの原発事故での被ばく者など、「高線量を一瞬に、もしくはきわめて

放射線量と人体への影響（単位：ミリシーベルト）

放射線量 (ミリシーベルト)	影響
7000	いちどきに全身に浴びた場合、死に至る
500	いちどきに全身に浴びた場合、人体の末梢血中のリンパ球減少
400	福島第1原発3号機付近で検出 (1時間当たり)
300	自然界で人が1年間に浴びる放射線量
200	一般公衆の線量限度※ (自然放射線と医療目的を除く)
100	東京～ニューヨーク往復のフライト (1回)
50	胸のX線検査 (1回)
1,000	放射線作業従事者の線量最大限度※



「正しく怖がる」ことが大切です

放射線が健康に与える影響というのは、過去の不幸な事件（チエルノブイリ原発事故など）から推定するしかありません。日本では、放射線の話になると全くの素人と専門家しかいないため、根拠のない風評が幅をきかせてしまいます。体の中に入った放射性物質の体内蓄積はありませんし、現状の塙町の放射線量のレベルは日常生活への影響はないと考えられます。放射

万が一、新たな原発事故が発生した場合は注意

今後、新たな原発事故（爆発など）が起こった場合は、被ばく自体がうつることがあります。人への風評被害が発生しています。正しい情報で行動しましょう。

④医療での放射線使用の繰り返し

過去の不幸な事故での健康被害の実例では、チエルノブイリ周辺での小児甲状腺ガンの増加だけで、これ以外は証明されていません。白血病や他のガンの増加は認められていません。

③低線量を浴び続けた場合

過去の不幸な事故での健康被害の実例では、チエルノブイリ周辺での小児甲状腺ガンの増加だけで、これ以外は証明されていません。白血病や他のガンの増加は認められていません。

②ガンの発症率の上昇

広島・長崎の被ばく者の追跡調査では、一瞬・短期間に至る場合

原爆の爆心地付近の被ばく者、原子炉近くでの原発事故での被ばく者など、「高線量を一瞬に、もしくはきわめて



ほし 星 たけとし
竹敏さん
○塙厚生病院併設介護老人保健施設 久慈の郷施設長
○東白川郡医師会副会長
○医学博士（専門：甲状腺）

震災に関する生活関連情報

詳しくは福島県のホームページをご覧ください
<http://www.pref.fukushima.jp/j/>

「悪質商法」や「詐欺」にご注意を

震災に便乗して、家屋の修理やガレキの後片付け、電気・ガスの点検にかこつけて、高額な金額を要求する悪質商法や、被災者支援の募金と称して、特定の口座に振り込ませようとする詐欺事件が発生しています。不審な電話などがあった場合は、警察へ通報、相談してください。

■「デマ」に惑わされないで！

被災地の犯罪発生状況などについて、さまざまな「デマ」が飛び交っています。新聞・テレビ・ラジオなどから正しい情報を得て、落ち着いた行動をお願いします。

■問い合わせ

棚倉警察署 ☎ 33-3241

農家の皆さんへ

農家経営安定資金の融通

福島県では、農家経営安定資金（原発事故対策緊急支援資金）を融通しています。

■貸付対象者

東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響による収入減少により、深刻な影響を受けている農業者など

■貸付対象経費

- ①原発事故に伴う国の出荷制限の指示により、農家収入が著しく減少した農業者などが、営農のため当面緊急に必要とする運転資金
- ②原発事故に伴う風評被害により農家収入が著しく減少した農業者などが、営農のため当面緊急に必要とする運転資金

■貸付限度額

- ①個人 300万円
- ②法人・団体 500万円

■貸付利率

無利子
農協に対し、県が1.65%の利子補給を行い、JAグループにおいてさらに1.2%引き下げるにより無利子とする。

■償還期間

5年以内（据え置き1年以内）

■償還方法

元金均等年賦または一括償還

※福島県農業信用基金協会の保証制度が利用できます。

（原則無担保・無保証人）

■取扱期限

平成24年3月末まで



■取扱金融機関 県内各農協

■問い合わせ

県農林水産部金融共済室

☎ 024-521-7346

農業者向け資金融資制度

◎農林漁業セーフティネット資金

■対象者

大震災により損失が生じた認定農業者（個人・法人）および一般農業者

■融資限度額 600万円

■償還期限 10年以内（うち据置期間3年内）

◎スーパーJ資金による緊急支援

■対象者

大震災により生産施設の被害や出荷制限などの影響により損失が生じた認定農業者（個人・法人）

■融資限度額

個人1億円、法人3億円（無担保融資は3,000万円まで）

■償還期限

25年以内（うち据置期間10年内）

上記2つの融資とも、要件がこのほかにもあります。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ

日本政策金融公庫福島支店農林水産事業

☎ 024-521-3328

中小企業者の皆さんへ

震災対策特別資金

福島県では、中小企業者を支援するため、新たに「震災対策特別資金」を創設しています。

■対象者

地震により事業活動に影響を受け、売上などが5割以上減少するか、減少する見込みのある中小企業者〔市町村長の罹災証明を受けられる方（やむを得ない場合は事後提出も可）〕は、災害関係保証を併用できます

■融資限度

運転資金、設備資金 8,000万円
(併用時は8,000万円限度)

■融資機関

10年以内（うち据え置き2年以内）

■融資利率

（融資後3年間は利子補給）

○固定年1.5%以内（直接被害により罹災証明書などの交付が受けられる方（やむを得ない場合は事後提出も可））で災害関係保証を併用した場合）

○固定年1.7%以内（上記以外で間接被害などを受けた場合）

■保証料率

（必ず信用保証協会の保証付）
○直接被害により罹災証明書などの交付が受けられる方（やむを得ない場合は事後提出も可）で災害関係保証を併用した場合

年0.5%（責任共有制度対象外で100%保証）

○上記以外で間接被害などを受けた場合

年0.05%～1.05%
(平均0.55%) 責任共有制度対象)

■担保

審査により必要になる場合があります。

■保証人

○法人 1人以上

○個人 必要により（原則第三者保証人は不要）

■申し込み

県内の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、商工中金）

■問い合わせ

県商工労働部金融課

☎ 024-521-7291

軽減・免除・還付が受けられます 平成22年分所得税

大震災により住宅や家財などに被害を受けられた方は、特例により平成22年分所得税の軽減・免除を受けることができます。また、確定申告などの手続きを行うことにより、税金の還付が受けられます。

■申告・納付などの期限延長

■所得税の軽減または免除

■源泉所得税の徴収猶予・還付

■住宅借入金等特別控除の特例

■財産形成住宅（年金）の利子等の非課税

■納税の猶予

■予定納税額の減額

※このほかにもありますので、詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせいただくか、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

■問い合わせ

白河税務署 ☎ 024-822-7111

光ファイバー工事に関するお知らせ

7月から町の試験放送を開始します IP告知端末機

震災の影響により、IP告知端末機のサービス開始が遅れていますが、7月から町の試験放送を開始します。申し込みされた方で、まだ工事が終わっていない方はもうしばらくお待ちください。

■設置完了予定 6月末（当初申し込み分のみ）

■試験放送開始 7月1日から

■本稼働予定 8月1日から

地デジ再送信の工事は6月末までに

地上デジタル放送再送信の工事は、6月末までに完了を予定しています。申し込みされた方で、まだ工事が終わっていない方はもうしばらくお待ちください。

現在、接続が完了したところから加入申込金（1万円）の納入通知書を送付中です。納入後に役場窓口で領収書を提示していただきますと、最後の取付部品をお渡ししています。その後、各自で電器店などに依頼し、設置をお願いします。

上記2つについて、これから申し込みを希望される方は、早急に申込手続きをお願いします。

なお、IP告知端末機の位置変更など再施工工事を申し込みされた方は、もうしばらくお待ちください。

■問い合わせ 総務課企画情報係 ☎ 43-2111



ふるさとを応援しています

東京壇会の皆さん が5月17日
(火)・18日(水)、壇町を訪れ、湯
遊ランドはなわに宿泊しました。

これは、地震と原発事故の影響を受け、観光客が減少している塙町を応援しようと、同会が「がんばろう！はなわ」を企画し実施しました。会員やその家族・知人など26人が参加しました。

懇親会の席上、吉成安男会長から菊池基文町長へ、義援金が手渡されました。なお、当初5月に予定していた創立20周年記念式典は、秋に延期することになりました。

風評被害に負けない



東京都練馬区 照姫まつりに出展・PR

・原発事故による風評被害に負けない、元気な塙町をPRしました。

塙町ふるさと産業おこし連絡協議会は5月15日(日)、東京都練馬区の石神井公園で開かれた「第24回照姫まつり」に出展しました。町物産協会、はなわ直売所(JA)、道の駅はなわなどが参加し、はなわの新鮮野菜、山菜、こんにゃく、アユの塩焼きなどを販売しました。また、お礼のお米の配布を行い、東日本大震災

会場には練馬区民など10万人以上が訪れ、野菜などがすぐ的に売り切れるなど大好評でした。セレモニーでは、菊池基文町長も出席し、町への応援・支援に対して区民の皆さんにお礼の言葉を述べました。

塙町に対する多くの義援金・支援金などが届きましたのでご紹介します。

※ 5月27日現在

寄託された義援金・支援金などは、有効に活用させていただきます。

なお、日本赤十字社への義援金については、6月18日(土)以降に回覧配布される「社協だより」(塙町社会福祉協議会発行)をご覧ください。

がんばろう！はなわ

- 鈴木 二良 様 (茨城県土浦市)
10,000円

■誠の会 様 (東京都葛飾区)
436,087円

■北郷工務店 北郷喜久 様 (川上)
200,000円

■安部トモ子 様 (上渡井)
30,000円

■福村 真 様 (三重県津市)
20,000円

■アネッサ 様
20,000円

■丸光電気株式会社 様 (中塚)
100,000円

■丸光電気株式会社社員一同 様
25,000円

■東白衛生協同組合 様 (台宿)
100,000円

■塙中学校職員一同 様
90,000円

■寺内 二昌 様 (上渡井)
100,000円

■株式会社クレステック 様 (静岡県浜松市)
100,000円

■塙町自衛隊父兄会 様
30,000円

■福島県石油業協同組合東白川支部塙班 様
50,000円

■湯岐観光ボランティア 様
30,000円

■自由民主党塙町支部 様
50,000円

■古谷 昌弘 様 (東京都葛飾区)
50,000円

■亀有銀座商店街振興組合 様 (東京都葛飾区)
115,867円

■サンヨガルームズ 酒井陽子 様 (材木町)
15,000円

■はなわ共栄会 様
30,000円

■芳賀家孫一同 様 (東京都品川区)
100,000円

■クボタ環境サービス株式会社 様 (東京都台東区)
150,000円

■薬王寺檀信徒一同 様
38,528円

■全国町村議会議長会 様
300,000円

■東京書籍株式会社 様 (東京都北区)
500,000円

■近藤新聞販売所 様 (桜木町)
子ども用マスク 1,600枚

■東白川ロータリークラブ 様
ガイガーカウンター(放射線量測定器) 1台

■鈴木 勝吉 様 (伊香)
50,000円

■東京塙会 様
50,000円

■はなわファンクラブ 様
120,000円

■株式会社アオショ一物流 様 (台宿)
20,000円

■株式会社アオショ一物流 従業員一同 様
20,120円

■笠原地区内行政区対抗ゴルフ大会
参加者一同 様
43,575円

■吉田 ハマ 様 (埼玉県比企郡川島町)
30,000円

■東白衛生組合親睦会 様
10,000円

■自治労東白衛生組合職員労働組合 様
10,000円

■奥久慈建築工房協同組合 様
50,000円

あたたかいご支援ありがとうございます

財政公表

平成22年度下半期 執行状況

「財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、平成22年度下半期（平成22年10月から平成23年3月）の予算等の状況についてお知らせします。



図書館にDVD機器を導入

みんなが主役
しあわせ実感のまち
はなわ

特別会計		(単位:千円)					
区分	予算額	歳入	歳出	支入済額	執行率	支出済額	執行率
老人保健	21	24	114.3%	11	52.4%		
国民健康保険	1,164,455	1,203,491	103.4%	1,102,975	94.7%		
後期高齢者医療	90,103	87,442	97.0%	89,726	99.6%		
介護保険	784,256	809,910	103.3%	755,658	96.4%		
簡易水道	218,998	201,443	92.0%	195,829	89.4%		
農業集落排水処理事業	123,485	120,682	97.7%	120,677	97.7%		
公共下水道事業	183,594	175,883	95.8%	175,881	95.8%		
塙林間工業団地用地取得造成事業	12,165	13,885	114.1%	678	5.6%		
老人ホーム米山荘	164,913	148,766	90.2%	130,826	79.3%		
笹原財産区	1,346	1,349	100.2%	245	18.2%		

* 収入済額・支出済額は平成23年5月12日現在の額で、最終決算額とは異なります。

町債の状況		(単位:千円)	
会計	区分	年度末現在高見込	構成比
一般	1 普通債	5,431,013	58.7%
	うち臨時財政対策債	2,032,888	22.0%
	2 災害復旧債	80,819	0.9%
簡水	小計	5,511,832	59.6%
	簡易水道事業債	991,337	10.7%
	農業集落排水事業債	1,101,173	11.9%
農集	資本費平準化債	99,063	1.1%
	小計	1,200,236	13.0%
	特定環境保全公共下水道事業債	1,496,496	16.2%
下水	資本費平準化債	48,585	0.5%
	小計	1,545,081	16.7%
	合計	9,248,486	100.0%

補正予算

平成22年度下半期は、国の経済対策予算であるきめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金の交付決定や、塙中学校建設財源（国庫支出金・地方債）が手厚く措置されたことなどにより、昨年度に引き続き大型の補正予算編成となりました。さらに、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害復旧のため、3月定例議会最終日に6号補正予算を追加提出しました。なお、年度内完了を予定していた地域情報通信基盤（光ファイバー・IP告知端末設置）をはじめ、多くの事業が完成できずに23年度へ繰り越しどなりました。

【平成22年度下半期の一般会計予算補正の状況】 (単位:千円)		
時期	補正の規模	主な補正事項
12月定例議会 (3号補正)	9,983	地域情報通信基盤自営柱建柱工事費・子ども医療費の増など
1月臨時議会 (4号補正)	104,053	国の経済対策に伴うきめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金などの増
3月定例議会 (5号補正)	330,447	基金積立金・国保会計繰出金の増、事業完了などに伴う不要予算の減
3月定例議会 (6号補正)	72,700	東北地方太平洋沖地震による災害復旧費・災害救助費の増
3月(専決) (7号補正)	11,114	特別交付税等の額確定に伴う財源整理・災害復旧費等の繰越予算の整理
補正合計	528,297	



町の予算が適正に執行されたのか、補正予算がどのように組まれたのかを、町民の皆さんに理解してもらいために、町が借り入れをしたものの現在高などです。事業を行うために町が借り入れをしたものを、歳入歳出予算の執行状況や財産、地方債の現在高などを「財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、年2回「財政公表」をしております。

一般会計

【歳入】		(単位:千円)		
区分	予算額	収入済額	執行率	予算額のうち 繰越明許分
町税	800,902	813,632	101.6%	
地方譲与税	74,575	74,575	100.0%	
利子割交付金	2,618	2,618	100.0%	
配当割交付金	888	888	100.0%	
株式等譲渡所得割交付金	246	246	100.0%	
地方消費税交付金	90,310	90,310	100.0%	
自動車取得税交付金	14,074	14,074	100.0%	
地方特例交付金	15,827	15,827	100.0%	
地方交付税	2,477,741	2,477,741	100.0%	
交通安全対策特別交付金	1,194	1,194	100.0%	
分担金及び負担金	22,792	22,319	97.9%	444 387
使用料及び手数料	68,434	72,203	105.5%	
国庫支出金	1,608,284	594,311	37.0%	954,875 3,569
県支出金	456,835	306,775	67.2%	16,673 8,378
財産収入	2,756	2,734	99.2%	
寄付金	8,325	8,326	100.0%	
繰入金	15,261	12,093	79.2%	
繰越金	1,333,290	1,333,291	100.0%	1,058,273 1,058,273
諸収入	1,399,851	132,887	9.5%	1,293,401 34,793
町債	1,245,100	596,600	47.9%	326,700 290,000
計	9,639,303	6,572,644	68.2%	3,650,366 1,395,400

【歳出】		(単位:千円)		
区分	予算額	支出済額	執行率	予算額のうち 繰越明許分
議会費	71,043	69,896	98.4%	
総務費	4,534,516	1,179,657	26.0%	3,410,321 144,677
民生費	951,495	789,183	82.9%	3,570 3,570
衛生費	485,867	480,246	98.8%	
労働費	22,883	21,951	95.9%	
農林水産業費	661,168	617,358	93.4%	13,286 12,106
商工費	137,903	91,102	66.1%	34,686 23,573
土木費	375,375	337,274	89.8%	65,650 57,694
消防費	217,707	211,556	97.2%	
教育費	1,510,719	1,400,596	92.7%	122,853 112,903
災害復旧費	20,197	732	3.6%	
公債費	571,189	569,122	99.6%	
諸支出金	1	0	0.0%	
予備費	79,240		0.0%	
計	9,639,303	5,768,673	59.8%	3,650,366 354,523

* 収入済額・支出済額は平成23年5月12日現在の額で、最終決算額とは異なります。

健康推進だより

■問い合わせ 健康福祉課健康推進係 ☎ 43-2115

実施期間内に接種を 予防注射を実施しています

肺炎球菌予防注射

■対象者	満70歳以上の方で、一度も肺炎球菌予防注射を受けたことがない方。
■実施期間	1期..生後12カ月以上24カ月未満 平成24年3月31日まで
■対象者	接種料金のうち4千円の助成を行っています。町内の医療機関に直接お申し込みください。
■実施期間	2期..平成17年4月2日~平成18年4月1日生まれ 平成11年4月1日生まれ 平成6年4月1日生まれ 平成5年4月2日~平成6年4月1日生まれ
■対象者	3期..平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれ 平成24年3月31日まで

麻疹・風疹予防注射(M-R)

■対象者	満70歳以上の方で、一度も肺炎球菌予防注射を受けたことがない方。
■実施期間	2期..平成17年4月2日~平成18年4月1日生まれ 平成11年4月1日生まれ 平成6年4月1日生まれ 平成5年4月2日~平成6年4月1日生まれ
■対象者	接種料金のうち4千円の助成を行っています。町内の医療機関に直接お申し込みください。
■実施期間	3期..平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれ 平成24年3月31日まで
■対象者	4期..平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれ 平成6年4月1日生まれ 平成5年4月2日~平成6年4月1日生まれ

おしゃべり広場へようこそ！ 子育てサロン

子育て中のお母さん・お父さん、お孫さんをみているおばあちゃん・おじいちゃんのためのサロンを開催します。サロンは、気軽に集まつて子育てのことなどをおしゃべりしたり、自由に遊んだりするところです。お子さん（お孫さん）と一緒にぜひお越しください。

■期 日	※7月・8月の開催日。9月以降は、後日お知らせします。
■時 間	○7月13日(水)・28日(木) ○8月10日(水)・19日(金) 午前9時30分～午前11時
■場 所	塙町公民館片貝分館

■その他の情報	○参加費は無料です。 ○気軽に無理のない時間でお越しください。 ○飲み物、おもちゃなどお子さんに必要なものは各自ご持参ください。
---------	--

費用を助成しています ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種

町では、乳幼児に重い後遺症を残すといわれている

細菌性髄膜炎を予防する

「ヒブワクチン」「小児用肺

炎球菌ワクチン」の接種費

用を一部助成しています。

任意の予防接種なので、

希望される方は、医療機関

の医師と相談のうえ接種し

てください。

対象者

塙町に住所を有する 生

後2カ月～5歳未満（5歳の誕生日の前々日まで）の

犬のファンに関する苦情が、いまだに多く寄せられています。

これは、散歩などの際に、道路や公園、家の前などに飼い犬の

犬のファンには、サルモネラ菌が付着して

いる場合があり、特に子どもたちが遊ぶ公園などの砂場では寄

犬のファンは飼い主が責任を

■問い合わせ 町民課生活安全係 ☎ 43-2114

生虫や細菌の感染経路となる危険があります。また、スコップでファンを隠すだけの人がいますが、これもファンの放置と同じです。自分たちの町をきれいにするため、また、あなたのパートナーが社会に受け入れられるよう、お互いにルールやマナーを守りましょう。



犬のファンに関する苦情が、いまだに多く寄せられています。これは、散歩などの際に、道路や公園、家の前などに飼い犬の犬のファンをそのまま放置していく人

がいるためです。犬のファンには、サルモネラ菌や大腸菌などの細菌が付着して

いる場合があり、特に子どもたちが遊ぶ公園などの砂場では寄

予防接種名	対象者	接種回数		接種料金 (自己負担額) 1回につき
ヒブワクチン	2カ月～7カ月児未満	初回3回	追加1回	800円
	7カ月～1歳未満	初回2回	追加1回	※8,852円のうち8,052円を町が助成
	1歳～5歳未満	1回		
小児用肺炎球菌ワクチン	2カ月～7カ月児未満	初回3回	追加1回	1,100円
	7カ月～1歳未満	初回2回	追加1回	※11,267円のうち10,167円を町が助成
	1歳～2歳未満	2回		
	2歳～5歳未満	1回		

各種検診を実施します

乳がん検診

■検診期間 7月1日(金)～9月

■検診場所 塙厚生病院 外科外来

■受診日

○7月11日(月)、8月22日(月)・29日(月)……

……30歳代

○毎週 月・木・金曜日……40・50歳代

○毎週 火・水曜日……60歳代以上

※日程の変更などはご相談ください。

■申し込みをした方へ

「検診通知書(ハガキ)」を6月17日(金)に郵送します。

検診通知書が届かない方はご連絡ください。

子宮がん検診および骨粗しょう症検診

■検診期間 7月21日(木)および8月23日(金)

■検診場所 塙農村勤労福祉会館 大研修室

■申し込み

まだ申し込んでいない方は、7月14日(木)までに電話でお申し込みください。

大腸がん検診および肝炎ウイルス検診

■検診期間 9月5日(月)～9月22日(木)

■検診場所 各地区館および集会所

■検診無料となる対象者

今年度、41歳・46歳・51歳・56歳・61歳になる方に無料クーポン券を発行します。※肝炎ウイルス検査は、今まで一度も検査したことがない方。



最高の仲間と 小学校・幼稚園 春季大運動会 最高の思い出



①・⑨息を合わせてね(片貝小・気持ちを一つにファイナルステージ) ②しっかり持って走ってね~(常豊小・縦割り班対抗こいのぼり競争) ③がんばろう ふくしま! がんばろう はなわ!(高城小・紅白応援合戦)
④やった~紅組の勝ちだ~(塙小) ⑤ゴールまでもう少し(塙小・100㍍走) ⑥早くひっぱれ~(高城小・むしたちのうんどうかい) ⑦今年は絶対「白」が勝つ(塙小・応援合戦) ⑧落とさないように慎重に(常豊小・じょうずに配達) ⑩上手にできたよ!(常豊幼・親子踊り「大きなカブおんど!!」) ⑪ゴールに向かって急げ~(塙小・大玉送り) ⑫最高の運動会にするぞ~(片貝小・紅白応援合戦) ⑬会場内に設置された看板には、今までの懐かしい写真が貼ってありました(片貝小) ⑭最後の種目 全力で走ります!(片貝小・紅白対抗リレー)

塙小学校、常豊小学校・同幼稚園、片貝小学校、高城小学校の春季大運動会が5月21日(土)に行われました。みんな力を合わせて元気に競技を行い、会場内は熱気にあふれていました。片貝小(平成24年3月をもって笠原小に統合)では最後の運動会になり、児童や地域の人たちにとって忘れられない日になりました。

*笠原小学校・同幼稚園の運動会は6月5日(日)、塙幼稚園の運動会は10月に開催予定です。



くらしの情報

役場の電話番号
☎ 0247-43-2111(代表)
役場のFAX
0247-43-2116
町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>

町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp

※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】

総務課 ☎ 43-2111

まち振興課 ☎ 43-2112

市民課 ☎ 43-2118

43-2113

43-2114

43-2115

健康福祉課

包括支援センター

43-2224

43-2227

43-2117

43-2148

43-2149

老人ホーム米山荘

43-0294

43-0377

43-2150

43-2119

43-4050

43-2644

43-0320

43-0808

43-0188

43-0378

- ①お住まいの市町村への申請手続きが必要な方
- 出生などにより、新たに養育する子どもができた方
- すでに受給していく、出生などにより養育する子どもが増えた方
- すでに受給していく、他の市町村から引っ越しをされた方
- 手書きの必要がない方
- すでに受給していて、支給対象となる子どもの数に変更がない方
- 手書きが必要な方
- 出生などにより、新たに養育する子どもができた方
- すでに受給していく、出生などにより養育する子どもが増えた方

相談

心の健康相談

県南保健福祉事務所
対象者 うつ状態・不登校・ひきこもり・認知症・自殺に関する心の悩み・その他の心の悩みをお困りの方またはその家族

さまざまな心の悩みでお困りの方、またはその家族の方を対象に「心の健康相談」を開催します。相談は無料で、秘密は厳守します。お悩みの方は、この機会にぜひご相談ください。

期日 (精神科医相談日) 7月1日(金)、8月5日、9月2日(金)、10月7日(金)、11月4日(金)、12月2日(金)、平成24年2月3日(金)、3月2日(金)

時間 午後1時30分～午後3時

場所 県南保健福祉事務所
担当者 精神科医、保健師

問い合わせ 面接相談は予約制(電話など)です。

申込み手続き

法務省人権擁護局と全国人

県南保健福祉事務所(県南保健所)健康福祉部保健福祉課 ☎ 0248(22)5649

110番 強化週間

福島地方法務局 法務省人権擁護局と全国人

県南保健福祉事務所(県南保健所)健康福祉部保健福祉課 ☎ 0120(0007)110

電話番号(フリーダイヤル) ☎ 024(534)1994

相談担当者 人権擁護委員、法務局職員

お知らせ

子ども手当は引き続き支給されます

健康福祉課

支給金額 月額1万3千円

支給対象となる子ども 子ども一人につき

支給金額 月額1万3千円

支給対象となる子ども 0歳から15歳になった後の最初の3月31日までの子

平成23年度の支給月 6月(2～5月分)

注意事項 10月(6月～9月分)

注意事項 ○すでに受給していて、他の市町村から引っ越しをされた方

○手書きの必要がない方

○すでに受給していて、支給対象となる子どもの数に変更がない方

○手書きが必要な方

○出生などにより、新たに養育する子どもができた方

○すでに受給していて、出生などにより養育する子どもが増えた方

○すでに受給していて、他の市町村から引っ越しをされた方

○手書きの必要

TOWN TOPICS

まちの話題



自分たちの手でこの森を育てる —遊々の森「矢塚希望の森」で植樹—

片貝小学校矢塚分校裏の遊々の森「矢塚希望の森」で5月8日(日)、花木の植樹が行われました。昨年5月に続いて2回目の植樹。地域住民など約30人が参加し、シダレザクラ、ツツジ、花モモ、モミジなど320本を植えました。「矢塚希望の森」の面積は1.55ha。棚倉森林管理署が管理する国有林で、平成21年10月に町と同管理署が協定を結びました。矢塚区では、地域の活性化や観光誘客に向けて今後も事業を進めていきます。

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課☎43-2111までご連絡ください。



春の塙路をウォーキング —駅からハイキング—

塙町観光協会とJR東日本がタイアップした「駅からハイキング」が5月4日(水)に行われました。今回は「植樹100周年記念。真っ赤に染まる4,000株の山つじ」をテーマに行われました。首都圏などからと塙町に避難している被災者など約70人が参加。磐城塙駅をスタート・ゴールに羽黒山山頂、愛宕神社、風呂山公園など約6.5kmのコースを散策。ダリアソフトクリーム割引(道の駅はなわ天領の郷)などのサービスもあり、参加者たちは春の塙路を満喫しました。

都会では味わえない体験 —湯悠ゆったり塙まるごと体験ツアー—

塙町と交流を進めている東京都練馬区の区民13人が5月14日(土)、常世北野地内で田植え体験を行いました。これは、常世アグリネットワーク実行委員会(生方初男会長)が実施した「湯悠ゆったり塙まるごと体験ツアー」で、今年で5年目になります。田植えの後はイチゴ狩りを行い、湯遊ランドはなわに宿泊。2日目は、片貝で山菜採りを体験し、参加者たちは貴重な体験をしました。



収穫の日を楽しみに —塙小学校「田んぼの学校・田植え」—

塙小学校の田んぼの学校・田植えが5月18日(水)、同校裏の田んぼで行われました。台宿・水と資源の会(戸井田操会長)の皆さんの協力で、田植機により行われました。今回、原発事故の影響を考え、見学のみになった5年生児童34人。秋の収穫の際は、児童が稻刈りを体験することになっています。児童たちは、秋の豊作を今からとても楽しみにしている様子でした。



「食」と「農」の教育のために —JA東西しらかわ 食農教育補助教材贈呈—

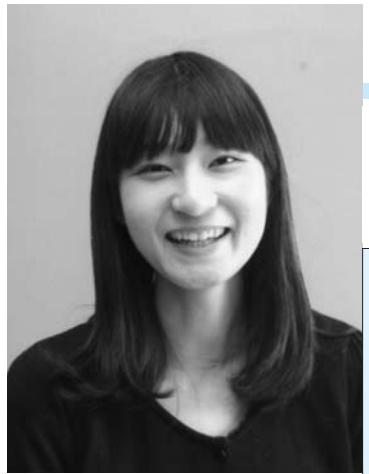
J A東西しらかわによる食農教育補助教材贈呈が4月27日(水)、塙小学校で行われました。これは、小学校5年生を対象に贈呈したもので、鈴木昭雄代表理事組合長から児童代表の近藤晃仁くん・佐々木悠花さんに教材が手渡されました。JAでは、次代を担う子どもたちに食や農業についての理解を深めてもらうための取り組みを行っています。今回で4回目となり、管内の各小学校(22校)すべてに教材が贈呈されました。

火遊びは絶対にしません！ —常豊幼稚園「幼年消防クラブ入団式」—

常豊幼稚園の幼年消防クラブ入団式が5月12日(木)、同園ゆうぎ室で行われました。年少児7人・年長児8人・保護者などが出席して行われ、防火ワッペンが芳賀一雄棚倉消防署塙分署長から菊池孝子園長へ、菊池園長から園児代表の近藤姫菜乃ちゃん・藤田瞬那ちゃんに交付されました。年少児が新たに入団し、園児たちは「ぼくたち わたしたちは かじをおこさないよう ちかいります」と、誓いのことばを元気よく行いました。



ぼくの先生



笹原小学校 養護教諭
さいとう さいか
斎藤 彩華先生

- ・只見町出身 A型
- ・趣味 カラオケ
- ・特技 生け花
- ・好きな食べ物 水菜、パプリカ、すし
- ・好きなスポーツ バレーボール
- ・好きな言葉 「永遠に未完成」

わたしの先生

シリーズ 254

児童たちの声

今日は、笹原小の斎藤彩華先生を訪ねました。彩華先生は、教師生活1年目で笹原小が最初の着任校になります。先生になったきっかけを尋ねると、「子どもの変化を日々感じられるすてきな仕事だと思っていた。そして、健康を伝えられる仕事をしたかったから」だそうです。笹原小の児童について尋ねると、「明るく元気。これから教師生活がとても楽しみです」と、笑顔で答えてくれました。



児童たちに、「彩華先生は、どんな先生ですか」と質問しました。

-彩華先生はどんな先生かな？

「いつも優しいんです」

「まだ怒ったところ見てないかも」

-先生のすごいところは？

「生け花が上手なんだよ」

-先生をキャラクターに例えると？

「マイメロディ」※サンリオのキャラクター

-先生に一言

「大好き～！これからもきれいでいてください～！」

「上級生が下級生の面倒をよくみていますよ」と、保健給食委員会の児童について話してくれた彩華先生。1年生から6年生まで9人の委員会メンバー。みんなとても仲良く、あたかい雰囲気の中での取材となりました。教師生活のスタートを塙町で過ごす彩華先生。子どもたちとたくさんふれあい、思い出をたくさんつくってくださいね。

(広報担当)

●次回は片貝小学校の予定です。

心温まる善意ありがとうございます
(5月分・義援金は除く)

- ファミリーマート道の駅はなわ店
(代表 藤田正夫)様
10,000円 (風呂山公園つづじ募金)
- はなわふるさと物産直売センター組合
(組合長 鈴木 茂)様
50,000円 (風呂山公園つづじ募金)
- 保住富晴 様 (東京都八王子)
10,000円 (ふるさとづくり寄付金)
- ユーアイゴルフ愛好会 (代表 高橋榮一)様
21,800円
(ふるさとづくり寄付金・子育て支援のために)



※「おくやみ申し上げます」は19ページに掲載しています。

随

リレー

想

お持ちかね。あなたの出番です。
259
シリーズ

遠藤 陽子さん
(末広町)



職業 無
趣味 俳句、フラ
好きな言葉 「笑顔」

ありがとう

夕方の台所のテーブルには、Aさんが果物はBさんから頂いたもの。揚げ物の材料はCさん。漬物はDさんから。そして、今出来上がったばかりの煮物がEさんから届きました。また、新鮮な野菜は実家からたくさん頂きました。「今日はこの野菜をおひたしにしようかな」と。そんな訳で、今は頂いた物で夕食の準備

す。
■次回は安部ミサ子さん(上渡井)で

は、この言葉になります。そんなステキな時間を一緒に過ごせる仲間がいることは、とても幸せです。その人たちに、どれほど励まされ勇気づけられたことか…。感謝です。周りのステキな人たち、本当にありがとう。そして、これからもよろしくお願いします。

子どもだったころ

石川 太郎さん
(本町)



職業 商業
趣味 ゴルフ、盆栽
好きな言葉 「絆」「誠実」

5歳まで、上町の金藤に住んでいました。そのころは、まだ道路も舗装になっていました。家の前の川上川は水量が多く、堰の所で大音をたててごみを感じていました。大雨が降ると、水量が増して恐ろしかったです。

そんな川ですが、私にとっては格好の遊び場でもありました。堰の上

のよどみのある所ではフナ釣りに最

高の場所で、また、堰から勢いよく

水の流れる所に網をかけると堰の所

で魚が跳ねて、面白いように魚が捕

れました。堰の近くでは、ウナギや

ナマズもよく釣れました。今では、

水の流れも変わり魚も少なくなつて、

桜木町にある青年山のツツジが今年で百年になるそうで、素晴らしいことだと思います。山一面に真っ赤に咲いたツツジを見ると、元気がもらえるような気になります。来年もツツジが咲くのが楽しみです。

■次回は青木 一さん(大町)です。

環境が大きく変わってしまいました。
何か寂しさを感じます。
小学校に入学するころ、今の本町にきました。たまに上町を通る時、子どものころ遊んだ川や、前に見える弁天様が懐かしく思うときがあります。弁天様の沢で、サワガニを捕つてきて、天ぷらで食べたのを思い出しました。年を取ったのでしょうか。

3月11日の地震による原発問題が深刻な状態を招いています。地球上の全ての山と川と自然を汚染しています、とても悲しく残念です。これからも生きていく私たちには、自然を見直し、自然を守って自然と共に存続いかなければなりません。それが未来の子どもたちのために行わなければならぬ義務だと思います。山や川で、どろんこになつて子どもが自由に遊べる環境を残してやりたいです。親子でパソコンをするのもいいでしょうが、たまには親子で山登りをしたり川で遊ぶのも良い思い出になるでしょう。家族と一緒に汗を流し、山登りして食べたおにぎりのおいしかったことを覚えておりま

「東京高会」から「んにちは



大野 喜和さん
千葉県市川市在住
(川上出身)

No.89

このコーナーでは、東京
壇会の皆さんのお懐かしい思
い出やふるさとへの思いを
紹介しています。

塙町の皆さん元気を取り戻しますように

「私の故郷は福島県中通りの塙町です」と言うだけで、全国の方がその場所を分かるようになつた故郷。このたびの地震、津波、まだ解決のスタートにも達していない原発問題とその風評被害に苦しんでおられる塙町の皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。

4月半ば、震災後初めて塙町を訪れる途中、小学校3年生のときに遠足で訪れた桜満開の矢祭山はほとんど観光客の姿がなく、この地域経済に及ぼす計り知れない打撃を実感しました。

私は、千葉県市川市に住んで40年近くになりますが、生まれは川上清水です。ま

だ現役多忙の毎日ですが、自然いっぱいの故郷川上清水の生活が、今私の心の原点をつくってくれたといふ誇りがあります。春は友達と新緑の弘法山に登り、夏は川上川で泳ぎ、田植えの前の田んぼにレンゲ草が咲き乱れ菜の花が咲き、兄が川で捕つたドジョウやウナギを食べ、都会に出てからは経験のできない楽しい思い出がたくさんあります。また、現在の身体の元気の源は、子どものころ、家の周りの山や田畠を縦横無尽に友達と一緒に走ったあのころの遊びが糧になっていると信じています。

お世話になつた小学校の先生方や友人、桜の木々が校舎の前にあつた笛原小学校での数々の思い出は、いつまでも私の心の中に残っています。

世界の人々が称賛した被災された方の謙虚さと我慢強さですが、困難が伴う生活がこれほど長期になりますと、実生活は本当に大変とお察ししております。塙町の皆さまが、どうかへこたれずにこの困難を乗り越えられ、いつか必ず、みんなで喜びあえる収穫の秋を迎えられますように、市川の地から祈念しております。

(次回は、埼玉県草加市在住の古市和男さんです)

●休日の当番医院

6月5日	和田医院 ☎ 33-2012	7月3日	東白川中央病院 ☎ 33-3263
6月12日	東館診療所 ☎ 46-3165	7月10日	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468
6月19日	大木医院 ☎ 33-2424	7月17日	塙厚生病院 ☎ 43-1145
6月26日	金澤医院 ☎ 46-2312	7月18日	木村医院 ☎ 46-3528

▼今回、放射線に関する取材・調査をしましたが、ある言葉を目にしました。「人に聞いて安心を得る人は、一生安心するときは訪れない」「今、私たちにつきつけられた課題なのがかもしません。▼5月は、各学校で運動会がありましたが、片貝小学校の運動会がとても印象的でした。精一杯競技・演技をする子どもたち、地域の方の姿にとても感動しました。「閉会の言葉」では、八幡千尋さん(6年生)が片貝小への思いを涙を流して話し、会場内すべての人がその言葉に感動しました。この日のことは、きっと一生忘れないでしょう。

編集後記

- 町長と町を語ろうよ
いつでもご連絡ください

町は、町民の皆さん的手で支えられています。町長と気軽に話し合い、あなたのご意見をお聞かせください。なお、出張中などで町長が不在のときもありますので、町長と話がしたい場合には事前にご連絡をお願いします。

問い合わせ 総務課総務係 ☎ 43-2111

● 今月の納税

県町民税 全期・第1期
(納付書は6/17に発送します)
納期限 6月22日(土)

●町の人口 8,003人(5月1日現在)

町の人口 9,901人(5月1日現在)
男性 4,898人(-10) 世帯数 3,303戸(+3)
女性 5,009人(- 7) ()内は前月比
※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の
人口、世帯数を掲載しています。